

校長のエネルギー源～寂しかった夏休みが終わります～

本校では7月18日に前期前半の授業を終了し、翌19日から夏休みに入りました。長い夏休みも終わり、いよいよ8月27日から前期後半の授業が始まります。

8月の大雨でお亡くなりになられた方と御遺族の方には、改めて御冥福をお祈りし、お悔やみを申し上げます。また、被害に遇われた方にはお見舞い申し上げます。直接的な被害に遇わずとも、怖い思いをされた方も多かったことと思います。

自然災害が甚大になる昨今ですが、おかげさまで、大きな事故等なく、児童生徒、職員全員が無事に前期後半を迎えることができます。御協力、御支援いただきました保護者並びに関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。

年々、気温が高くなっており、特に今年は梅雨の期間が短かったこともあり、猛暑、酷暑の日が長く続いています。処暑を過ぎた今も気温が下がる気配はありません。今年は「セミの声が一斉に聞こえ始めましたね」、「蚊に刺されてかゆいです」という会話をしていない気がします。梅雨の時期に色とりどりに咲く「アジサイ」(土壌の pH が花弁の色素に関与しています)、夏の代名詞「ヒマワリ」はどうだったでしょうか。



特にアジサイの花、今年は元気がないなあと思われた方も多かったのではないのでしょうか。生命が輝くとき、環境要因が大きく影響します。動物に限らず植物も生きることに常にエネルギーを使っています。でも、無理はしないのです。増えすぎたり大きくなりすぎると成長を抑制する動植物もいます。私たちが食べなかつたり食べ過ぎたりするのも体調によくないのと同じですね。生物には生きる戦略があります。

新任校長として、4月から夏休みに入るまでの期間、難しい仕事や課題解決に悩んでも、児童生徒と触れ合うこと、先生方と話すことが支えとなりました。書類の締切直前であっても、我慢できずに、本校舎と高等部校舎の登下校や教室に向かう自分がいきました。心のエネルギー源として、児童生徒の存在は不可欠です。児童生徒と接する先生方の存在も不可欠です。ようやく、学校に児童生徒の姿がなかった、とても寂しかった夏休みが終わります。早く児童生徒の皆さんと会いたいです。

あとは、生命戦略に適応した環境要因が整い、ヒグラシの声が聞ける日を楽しみにしています。

本校舎では、夏休み中に正門の看板が新しくなり、本格的に長寿命化対策の工事も始まりました。前期後半も安全・安心な学校づくりに尽力します。

